

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月21日

### 2005年6月19日現在

6月19日に終わる1週間の気象は、前週に引き続き湿潤気象であった。気温は前週より上昇した。最高気温はNC地区では74~84度F、NE地区では85~91度F、Cent.地区では74~81度Fであった。最低気温は各地とも38~50度の間であった。1週間の降水量はNC地区では0.30~1.15インチ、NE地区では0.26~1.79インチであった。Cent.地区では他地区より多く殆どの観測上が1.00インチ以上を記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は3.0日(前週:1.6日)であった。前週より農作業が進んだ。

Topsoil、Subsoilの水分は前週より更に改善した。今後の生殖成長にとり極めて良い土壌水分状態と言える。

冬小麦は全体の94%が穂孕み期にあり、57%が出穂した。出穂は昨年(63%)より遅れているが、5年平均(58%)並になった。収穫は未だ開始されていない。春小麦は全体の23%が穂孕み期に入った。生育は例年より速まったが、5年平均より遅れていた。

冬小麦並びに春小麦の作柄評価は、昨年並びに5年平均より良好な評価となった。Durum小麦の作柄は昨年の作柄より多少評価は低いが、全般に良好と報告された。

6月10日USDA発表の6月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は5月1日と変わらず41.0bushels/acrで昨年実績と同数であった。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：2005年6月19日現在

#### Topsoil

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr. Ave.
Very short (%)	1	0	9	8
Short (%)	6	5	21	24
Adequate (%)	82	77	65	63
Surplus (%)	11	18	5	5

#### Subsoil

Very short (%)	7	10	28	24
Short (%)	20	26	33	37
Adequate (%)	68	59	38	38
Surplus (%)	5	5	1	1

### 小麦生育状況：6月19日現在

次ページへ：

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter Wheat				
Boot (%)	94	78	92	90
Headed (%)	57	29	63	58
Spring Wheat				
Boot (%)	23	17	15	25
Durum Wheat				
Emerged (%)	100	93	76	NA
Boot (%)	25	8	NA	NA

冬小麦作柄状況：6月19日現在

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave.
Very Poor (%)	0	2	4	16
Poor (%)	5	9	12	22
Fair (%)	31	31	32	24
Good (%)	45	41	41	29
Excellent (%)	19	17	11	9

春小麦作柄状況：6月19日現在：

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave
Very poor (%)	0	1	1	4
Poor (%)	2	2	6	6
Fair (%)	15	18	30	33
Good (%)	67	64	59	48
Excellent (%)	16	15	4	7

Source: Montana Agricultural Statistics Service

6月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想：

State Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				May 1	June 1		
MT	1,630	2,050	41.0	41.0	41.0	66,830	84,050
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>